



SINANEN 

BUSINESS REPORT

統合報告書2025を発行いたしました

詳細はこちらからご覧いただけます

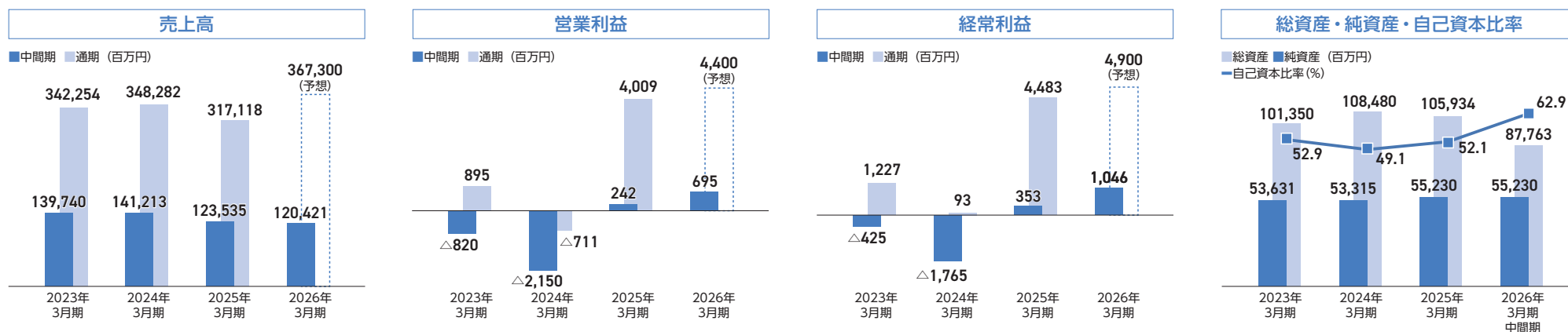
<https://sinanengroup.co.jp/ir/library/annual/>



スナップショット

- ▶ 石油類とガス類の販売数量減少により減収となったものの、各事業の収益性改善等により経常利益は前年同期比増
- ▶ 収益性及び資本効率改善の観点から事業ポートフォリオを再精査し、当社グループにおける主力事業の統合並びに事業再編に向けて、グループ一丸となって取り組みを推し進める

業績ハイライト



セグメント別売上概況

(単位:億円)	2025年3月期 中間期実績	2026年3月期 中間期実績	前年同期比(額)
BtoC事業 エネルギー卸・小売周辺事業	276.2	270.2	△6.0
BtoB事業 エネルギーソリューション事業	853.5	823.1	△30.3
非エネルギー事業	104.5	109.7	+5.1
その他・調整額	0.9	1.0	+0.0
合計	1,235.3	1,204.2	△31.1

決算について詳細をご覧になりたい方は、以下のツールからご確認ください。

決算説明会動画	業績ハイライト	決算短信
 https://sinanengroup.co.jp/ir/library/presentation/	 https://sinanengroup.co.jp/ir/financial.html	 https://sinanengroup.co.jp/ir/library/tool.html
		

第三次中期経営計画の概要

現状分析

— これからどんな世の中になっていくのか? —

機会

- ・建物ライフサイクルの長寿命化、省エネ基準適合義務化
- ・カーボンニュートラル事業や新エネルギー領域のニーズ拡大
- ・規制強化（コスト増）により事業撤退する事業者の増加
- ・地方の非稼働資産の増加（空き家・空き地）
- ・ロボットやAIの活用の増加、ドローンによる物流技術の進歩

脅威

- ・化石燃料への規制強化による収益性の停滞
- ・少子高齢化によるファミリー層や若年層の減少
- ・地方経済の停滞（2050年までに約900都市消滅予測）
- ・労働力低下・働き手不足（2040年に約1,500万人不足予測）

— 当社グループの強み・弱みは? —

強み

- ・地域に拠点を展開（延べ85カ所）
- ・安定した顧客基盤を有し、地場企業に対しての信用力がある（資本力・業歴）
- ・営業担当によるワンストップ対応が可能、クロスセル可能な商材を保有
- ・安全への高い意識と仕組みを有する

弱み

- ・グループ各社方針のベクトル合わせが必要
- ・ブランド力の強化が必要
- ・自治体などとのさらなる関係性の構築が必要

経営戦略

第三次中期経営計画

— ビジョン —

**脱炭素社会の実現に貢献する
総合エネルギー・ライフクリエイト企業グループへの進化**

成長戦略

- ii リテールサービス戦略の強化
- i 国内事業基盤の再整備
- iii 新たな事業への取組み

経営基盤強化

- 人財育成と風土改革の推進
- 業務・資産効率性向上

基盤

エネルギー事業会社としての責務
(安定供給、保安管理)

非財務目標

- 脱炭素社会に対応した事業構造への転換
- 社員の市場価値向上

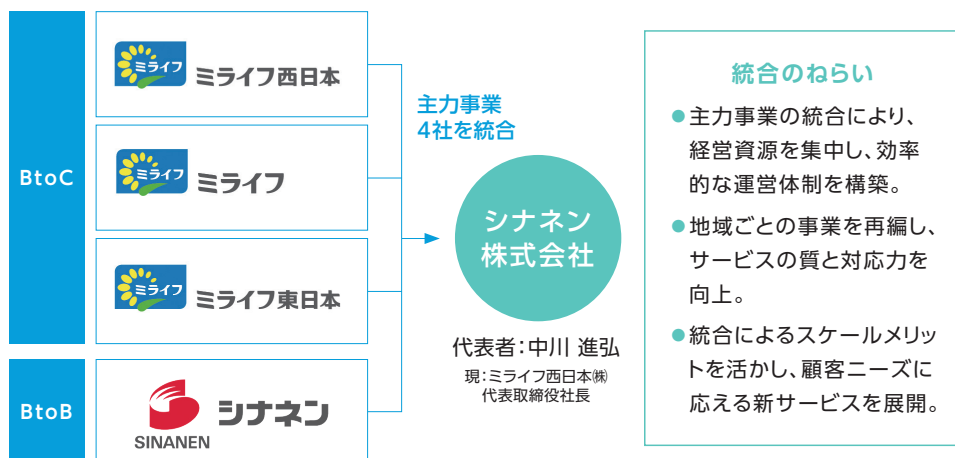
特集 シナネンホールディングスの成長戦略

主力事業4社の統合

2026年4月、主力のグループ会社4社の統合によって新生「シナネン株式会社」が誕生します。4社の強みと役割を整理し、事業基盤を再整備することで、持続的な成長を実現してまいります。

～2026年3月期

2027年3月期～



■ 新生シナネンの目指す方向性

新生シナネンは、4社統合後、全国拠点のネットワークを活かし、「顔の見える関係」を地域に根差した価値として定着させていきます。また、全ての拠点でグループのスケールメリットを発揮し、迅速かつ柔軟に対応する体制を整備し、全国規模で一貫性のあるサービスを提供します。地域特性に応じたサービスメニューを拡充し、エネルギー事業をサービス事業へ変革して成長事業に変えることを目指します。

■ 統合後の組織運営

現場の声とKPIの進捗を経営層が迅速に把握する仕組みを整備します。また、最優先課題であるコンプライアンスを強化し、大規模災害に備えた事業継続計画 (BCP) を策定し、危機管理体制も強化します。地域密着型の拠点運営と本社主導のガバナンスを両輪に、持続可能で信頼される組織運営を行ってまいります。



詳細は統合報告書P.19をご覧ください

<https://sinanengroup.co.jp/ir/library/annual/>



リテールサービス戦略の強化

お客様を「エネルギーの利用者」から「建物」へ「街」へと捉え直し、ハウスクエアや水漏れ対応、防災、省エネなど、総合エネルギー企業だからこそできるサービスを提供し、「頼られるパートナー」として知名度と信頼性の向上を図ります。

リテールサービス戦略方針

これまでの「ガス事業者」「石油事業者」「エネルギー商社」といった単体の事業、個別の会社ではなく、**地域拠点がある街全体を対象として、グループのさまざまなサービスを提供する企業体へ進化**していくため、**以下の4つ**を重点項目とし、**稼ぐ力を強化**していきます。

① サービス拡充

- 全ての拠点で総合エネルギー (石油・ガス・電力) だけでなく、住宅メンテナンスや省エネ提案などグループ内商材を結集した住まいのサービスを提供
- GXをはじめとした街に貢献する新規サービスの開発も継続的に実施

② 顧客拡大

- 街を構成する個人 (住宅)、地元・地場法人 (ビル・施設)、自治体、その他コミュニティ (団体・組合) を顧客とし、クロスセルや新規獲得を行う

③ ブランド強化

- 拠点を中心に地域に密着して知名度を向上、当社グループのサービス内容とサービス品質の高さを広く認知してもらう

④ 競争力強化

- 競争力のあるサービス提供企業となるため、サービス品質を向上し、また新しいことを実施する余力をつくるため、社内業務の効率化を行う

■ ユーザーファーストを基点とした体制構築

当社グループは、地域のお客様を第一に考えた「ユーザーファースト」を徹底するため、人材育成を強化しています。社員が自律的に行動し、現在のお客様と新たなお客様に、エネルギーのみならず多様な価値を提供する持続可能な企業を目指しています。これにより、地域社会に貢献し、「世の中に誇れる会社」として変革してまいります。

■ グループ各社の連携と融合

エネルギー事業及びグループ各社の事業の連携を強化し、お客様の視点に立った新たな価値を提供します。グループ共通のサービスパッケージや販促ツールを整備し、社員の誰もが質の高い提案ができる仕組みや、お客様が求めるサービスを提供できる環境を整えることで、営業力と競争力の向上を目指します。



詳細は統合報告書P.23をご覧ください

<https://sinanengroup.co.jp/ir/library/annual/>



IRコミュニケーション

当社では、個人投資家のみなさまに事業内容や成長戦略をご理解いただく機会として、会社説明会を実施しています。2026年3月期上期には、6月7日に個人投資家向けIRセミナー、6月22日上場企業IRセミナーを開催しました。決算説明会も開催しており、そこでいただいたものも含め、みなさまから寄せられたご質問をご紹介します。

ご質問

Q 中期経営計画達成に向けての見通しや現状を教えてください。



当社からの回答

主力4社の統合、リテールサービス戦略の強化、資産効率改善施策など、中期経営計画達成を目指して、各種取り組みが着実に進んでいます。中計目標である経常利益100億円に対して、本年3月末時点では、経常利益で5割、ROEで7割程度となっており、高い目標ではありますが、引き続き当社の総合力を結集して取り組んでまいります。

Q 主力4社統合の進捗について、現在の状況や確定していることがあれば教えてください。



シナネンホールディングスを中心となり、統合する事業会社と共同でタスクフォースを組成し、具体的な準備を進めています。

来年4月には、全ての拠点でお客様のニーズに迅速かつ柔軟に対応し、サービスの本質である“目配り、気配り、心配り”を体現できるよう、グループ一丸となってワンチームで取り組んでいます。進捗は適宜ご報告させていただければと思います。

Q 当期の投資状況や実績などがあれば教えてください。



投資金額などの詳細は控えますが、上半期は商圈買収等の複数の投資案件がありました。下半期につきましても、現在進行中の案件を複数抱えており、一定の投資積み上げが見込まれます。キャッシュの活用方法としましては、成長投資を優先しつつ、その他の選択肢も機動的に検討してまいります。

トピックス

「ANAガス」のサービス開始

ミライフ株式会社は、ANA X株式会社と共同で、新たなインフラサービス「ANAガス」を2025年5月21日より開始しました。

本サービスをご契約いただくと、都市ガス利用を通じて日常的にANAのマイルを貯めることができます。ANAマイレージクラブ会員には毎月50マイル、ANAカード会員には毎月100マイルが固定で付与され、「ANAでんき」との併用で年間最大6,000マイルの獲得が可能です。ANAの新たなインフラサービスを通じて、お客様の日常に新たな価値と喜びを提供してまいります。



詳細はこちらからご確認ください
<https://sinanengroup.co.jp/news/melife/250515988>



ROA改善施策スタート

当社グループでは、中期経営計画目標のROE8%以上達成に向けて、当期からROA（総資産利益率）改善施策を本格的に開始しています。この改善施策は、収益を生み出す「資産」に目を向け、その資産効率性の改善を通して、収益力の強化につなげることを狙いとしています。また、持続的な取り組みとして、前年度末のROAを下回らないことをベンチマークに毎年継続的な資産見直しを実施する仕組みを目指しています。ROEの分母となる資本についても、機動的な資本政策によりアクティブコントロールを図ってまいります。



詳細は統合報告書P.33をご覧ください
<https://sinanengroup.co.jp/ir/library/annual/>



「2025年度 グループコンテスト」によりグループ全体の連携を強化

本イベントは、「稼ぐ力」や「グループミッション」を体現しグループに大きく貢献した社員を、グループ内企業の各部門から選出し、その努力を労うイベントです。グループ全体で「稼ぐ力」を高めグループミッションを浸透させていくこと、第三次中期経営計画達成と100周年に向けて社員の士気を高めること、グループの一体感を醸成することなどを目的としています。

こういった取り組みを通じて、2026年4月のグループ再編に向けた機運の醸成を図ってまいります。



もっとシナネンホールディングスを知りたい方へ

統合報告書



<https://sinanengroup.co.jp/ir/library/annual/>



個人投資家向けサイト



<https://sinanengroup.co.jp/ir/individual/>



サステナビリティサイト



<https://sinanengroup.co.jp/sustainability/>



各種SNSツール



Facebook

<https://www.facebook.com/sinanenhd>



X

<https://x.com/sinanenhd>



Instagram

<https://www.instagram.com/sinanenHD/>



YouTube

<https://www.youtube.com/channel/UCXoZ-E3EjmyU-0TpgL80pQ>

会社情報・株式情報 (2025年9月30日現在)

■ 会社情報

商号 シナネンホールディングス株式会社
本店所在地 東京都品川区東品川1丁目39番20号
創業 1927年4月11日
設立 1934年4月25日
資本金 156億3,000万円
連結従業員 3,536名(臨時従業員1,807名を含む)

■ 役員

代表取締役社長	中込 太郎
取締役	三橋 美和
取締役	中村 哲也
社外取締役	大橋 弘幸
社外取締役(常勤監査等委員)	宗像 雄一郎
社外取締役(監査等委員)	篠 連
社外取締役(監査等委員)	三谷 宏幸
社外取締役(監査等委員)	村岡 元司
社外取締役(監査等委員)	竹中 由重

■ 株式情報

発行可能株式総数 47,520,600株
発行済株式総数 11,946,591株
株主数 3,800名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
エヌオーアイ投資事業有限責任組合	963,300	8.85
UH Partners 2投資事業有限責任組合	835,700	7.68
株式会社UH Partners 3	818,200	7.52
エスアイエル投資事業有限責任組合	815,100	7.49
コスモ石油マーケティング株式会社	789,105	7.25
光通信KK投資事業有限責任組合	699,900	6.43
明治安田生命保険相互会社	672,000	6.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	595,300	5.47
シナネングループ取引先持株会	417,916	3.84
リンナイ株式会社	374,419	3.44

※1. 当社は自己株式1,066,517株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。
2. 持株比率は、自己株式1,066,517株を控除して計算しています。
3. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主様へ

単元未満株式(1株~99株)とは

当社の最低売買単位である1単元(100株)に満たない株式のことをいい、単元未満株式(1株~99株)については、証券市場で売買することはできません。

単元株式

- 株主総会で議決権を行使できる。
- 証券市場で売買できる。

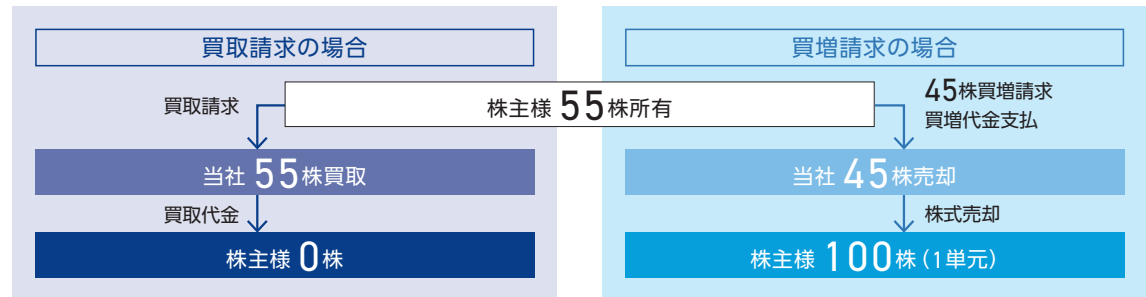
単元未満株式

- × 株主総会で議決権を行使できない。
- × 証券市場で売買できない。

単元株式(100株)にするには

単元未満株式をお持ちの株主様は、当社に対し市場価格で、**単元未満株式につき、単元株式(100株)にするために必要な株数を当社からご購入(買増制度)または単元未満株式をご売却(買取制度)**いただくことが可能です。

55株をご所有の場合(イメージ)



単元未満株式の買増及び買取にかかる当社の手料金は無料*です。ご利用をご検討ください。

※お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。特別口座に記録されている単元未満株式につき買増及び買取請求をされる場合は、手数料は無料となります。

単元未満株式の買増及び買取、配当金受領方法など

- 株主様の口座があるお取引の証券会社にお問合せください。
- 証券会社に口座がなく特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である みずほ信託銀行株式会社(0120-288-324)にお問合せください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで	株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問合せ	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
剰余金の配当基準日	3月31日	公告掲載方法	電子公告により、当社ホームページ(https://sinanengroup.co.jp/)に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた時は日本経済新聞に掲載いたします。
定時株主総会	毎年6月下旬	各種事務手続き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部		
同連絡先・郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)		